

女子学生の生活態度・意識に関する調査結果 (第Ⅱ報)

野村 晶子
田中 千代

目的：女子学生の生活態度や意識について、現時点での実態を捉え、今後、Personality 研究や、自己同一性の研究、及び、適応に関する研究の基礎資料とすることを目的として着手した次第であるが、第一報での予備調査からは、社会・文化的影響を受けて Subjects の価値感や、態度・意識は中庸であり、従来、青年期独自のものとしてみてきた、いわゆる純粋さ、いちづさ、情熱的、能動的、等々……の特性は認められなかった。そこで、今回は、Subjects を増やし調査した結果を報告する。

方法：質問紙法に依り回答を求めた。調査期間は1986年10月である。調査対象は女子学生（1年次）147名。調査項目は、Ⅰ人生観関係、Ⅱ自己関係、Ⅲ友人・生活関係、Ⅳ家庭関係、Ⅴ学校関係、Ⅵ国家社会生活関係、Ⅶ未来関係、Ⅷ異性関係、を設定した。

結果及び考察：Ⅰ人生観関係では、(1)「人生で何を求めますか。」に対し、1位は、幸福な結婚103名(70.1%)、2位は、円満な家庭の建設102名(69.4%)、3位は、他人との誠実や愛101名(68.7%)で、国家への献身、信仰に依る救い、等は皆無であった。即ち、女子青年独特の価値観である幸福な、円満な、誠実な結婚、家庭や愛を築くという姿が見受けられたが、Subjects の生きる時代、社会・文化的影響が映し出されている。(2)「宗教を信仰しますか。」に対し、信仰に関心がない122名(83.0%)、(3)「道に迷っている人を見たらどうしますか。」に対し、たずねられれば教える122名(83.0%)であった。(4)「人間の本来は善か悪か。」に対し、善でも悪でもない66名(44.9%)、善である54名(36.7%)であった。(5)

「もともと頼れるのは自分だけだ」という意見に賛成ですか。」に対し、いいえ90名(61.2%)、はい57名(38.8%)であった。(6)「今の社会ではあくせくしないでのんびりするのが大切だ。」に対し、はい84名(57.1%)、いいえ62名(42.2%)である。(7)「お金は貯金するより使った方がよい。」に対して、いいえ83名(56.5%)であり、又、分らない34名(23.1%)もいた。自己同一性形成過程にある Subjects は、中間性を示し、モラトリアムのな存在にもある。

Table Ⅰ 人生観関係 * () 内はパーセンテージ

(1)人生で何を求めていますか。

他人との誠実や愛	101(68.7)
お金や地位	33(13.0)
やりがいのある仕事	43(29.3)
信仰による救い	0(0)
円満な家庭の建設	102(69.4)
国家社会への献身	2(1.4)
趣味に合った生活	43(29.3)
幸福な結婚	103(70.1)
その他	0(0)
何を求めてよいか分らない	1(0.7)

(2)宗教を信仰しますか。

信仰による救いを求めている	23(15.6)
神や仏等信じられない	1(0.7)
信仰に関心がない	122(83.0)

(3)道に迷っている人を見たらどうしますか。

声をかけてみる	25(17.0)
たずねられれば教える	122(83.0)
気にかけない	0(0)

(4)人間の本性は本来善か悪かいずれだと思いますか。	
善である	54(36.7)
悪である	17(11.6)
善でも悪でもない	66(44.9)
分らない	10(6.8)

(5)「もともと頼れるのは自分だけだ」という意見に賛成ですか。

はい	57(38.8)
いいえ	90(61.2)

(6)「今の社会ではあくせくしないでのんびりするのが大切だ」

はい	84(57.1)
いいえ	62(42.2)

(7)「お金は貯金するより使った方がよい」

はい	30(20.4)
いいえ	83(56.5)
分らない	34(23.1)

Ⅱ 自己関係では、(1)「自分の性格等について満足していますか。」

に対し、やや不満70名(47.6%)、やや満足している50名(34.0%)、不満24名(16.3%)であった。(2)「自分の性格について。」は、普通49名(33.3%)、やや内向性45名(30.6%)、やや外向性39名(26.5%)と回答している。(3)「自分の話し好きについてどんなに考えるか。」に対し、やや話し好き60名(40.8%)、普通52名(35.4%)、非常に話し好き20名(13.6%)で、話すことは嫌いは皆無であった。(4)「自分の意志は強いと思うか。」に対し、やや弱い50名(34.0%)、やや強い43名(29.3%)で、非常に弱い皆無であった。(5)「自分の人柄に魅力があると思うか。」に対し、普通78名(53.1%)、やや魅力がない37名(25.2%)、やや魅力的24名(16.3%)で、非常に魅力がない皆無であった。(6)「進学、就職、結婚等、重要な問題は誰に相談するか。」に対し、両親46名(31.3%)、友達43名(29.3%)、母親38名(25.9%)であった。(7)「理想とする人物、作家、芸術家。」は両親8名(5.4%)、山口百恵3名(2.0%)、ショパン2名(1.3%)であった。(8)「休日の過ごし方。」

は、町をぶらつく112名(76.2%)、音楽81名(55.1%)、次いで、ラジオ、テレビ72名(49.0%)であった。以上のように中庸でありたい、そして、青年の志向する人物は、ひと頃とは極端に異なる傾向がみられ、余暇の過ごし方も受け身的である結果が得られた。

Table Ⅱ 自己関係

(1)自分の性格等について満足していますか。

満足している	3(2.0)
やや満足している	50(34.0)
やや不満である	70(47.6)
不満である	24(16.3)

(2)自分の性格についてどんなに考えていますか。

非常に外向性である	10(6.8)
やや外向性である	39(26.5)
普通(いずれでもない)	49(33.3)
やや内向性である	45(30.6)
非常に内向性である	4(2.7)

(3)自分の話し好きについてどんなに考えますか。

非常に話し好きでる	20(13.6)
やや話し好きである	60(40.8)
普通	52(35.4)
やや話し好きでない	15(0.2)
話すことは非常に嫌いだである	0(0)

(4)自分の意志は強いと思いますか。

非常に強い	6(4.1)
やや強い	43(29.3)
普通	39(26.5)
やや弱い	50(34.0)
非常に弱い	9(6.1)

(5)自分の人柄は魅力があると思いますか。

非常に魅力がある	2(1.4)
やや魅力的である	24(16.3)
普通	78(53.1)
やや魅力が足りない	37(25.2)
非常に魅力がない	6(4.1)

(6)人間として他の人と比較してどんなに思いますか。	
非常に優越感を持っている	0(0)
やや優越感を持っている	7(4.8)
普通	104(72.8)
やや劣等感を持っている	31(24.1)
非常に劣等感を持っている	2(1.4)

(7)進学、就職、結婚等重要な問題は誰に相談するか。	
母親	38(25.9)
友達	43(29.3)
父親	1(0.7)
両親	46(31.3)
お世話になっている先生	4(2.7)
姉・兄	6(4.1)
おばさん	1(0.7)

(8)特に理想とする人物、愛好する作家、芸術家	
山口百恵	3(2.0)
両親	8(5.4)
佐藤愛子	2(1.3)
ショパン	2(1.3)
いわさきちひろ	2(1.3)
三浦綾子	1(0.7)
S・ワンダー	1(0.7)

(9)休日をどのように過すことが多いですか。	
スポーツ	23(15.6)
映画・演劇等を見る	26(17.7)
ラジオ・テレビ	72(49.0)
読書	13(8.8)
音楽	81(55.1)
町をぶらつく	112(76.2)
小旅行	6(4.1)
勉強する	4(2.7)
家族の者とともに過す	28(19.0)
造形美術	2(1.4)
室内遊戯	1(0.7)
けいこ事	1(0.7)
特に何もしないでぶらぶらしている	18(12.2)
その他	34(23.1)

Ⅲ友人・生活関係(1)「現在の友人に満足しているか。」に対し、やや満足している63名(42.9%)、

満足している60名(40.8%)であった。(2)「心をうちあけて話せる友人がいるか。」に対し、いる139名(94.6%)であった。(3)「友達づき合いは深入りしない方がよいか。」に対し、いいえ130名(88.4%)である。(4)「閑なとき友人とどんな雑談をするか。」に対し、恋愛や異性等について119名(81.0%)、人生・哲学論100名(68.0%)、次いで、学業、職業、友人等について85名(57.8%)であった。即ち、友人は重要な相談相手で、深くつき合い、人生や、身近な出来事を話し合う位置を占めている。(異性の友人に話すは133名(90.4%)である。)

Table Ⅲ 友人・生活関係

(1)現在の友人関係について満足していますか。	
満足している	60(40.8)
やや満足している	63(42.9)
満足していない	20(13.6)
分らない	4(2.7)
(2)どんなことでも心をうちあけて話せる友人がいますか。	
いる	139(94.6)
同性	133(90.5)
異性	2(1.4)
両方	4(2.7)
いない	7(4.8)
(3)「友だちづき合いは深入りしない方がよい」	
はい	17(11.6)
いいえ	130(88.4)
(4)閑なときに友人とどんな雑談をしまか。	
政治・経済等について	1(0.7)
衣食住等について	56(38.1)
学業、職業、友人等について	85(57.8)
将来の希望	41(27.9)
恋愛や異性等について	119(81.0)
人生・哲学論	3(2.0)
趣味、娯楽論	100(68.0)
その他	3(2.0)

IV家庭関係(1)「現在の家庭に満足しているか。」

に対し、満足している69名 (47.0%), やや満足51名 (34.7%) であり、不満であるは皆無であった。(2)「家族についてどんなに考えますか。」に対し、(イ)父の愛情……○厳しい中に人間の本当の愛を教えてくれる。○形にならないが良いと思っている。○もう少しやさしくして欲しい。又、反面、○頑固で古い。とも記述している。(ロ)母の愛情……○何も言わなくても良く理解してくれる。○神経質で心配が多い。○やさしい人。○病気をした時などしみじみありがたいと思う。などがあり、Negativeな回答は得られなかった。(ハ)その他の家族……○時にはケンカしても、よく考えてくれる。○うまくやっている。○祖母は心配性。と、主に姉弟を中心に考えている(核家族化の普及を反映している)。又、Negativeな反応はみられなかった。即ち、家族関係は、父親に、家族への無関心性の反応が出ているが、問題視までする程度のものではないようであった。(3)「親の考え方、生き方のくいちがいは。」に対し、いくらかあるが苦にしない101名 (68.8%) であった。(4)「隣近所の家とうちとけた交流があるか。」に対し、ある110名 (74.8%) であった。(5)「家族の収入は充分と思うか。」に対し、充分87名 (59.2%) である。(6)「お母さんをどのようにしてあげたいと思うか。」に対し、もっと趣味や楽しみを持ってもらいたい109名 (74.1%), 次いで、母が年をとってからも一緒にいてあげたい93名 (63.3%), 家族みながもっと母を理解してほしい42名 (28.6%), 夫や子供に頼るだけでなく自分自身の生きる目的を持たせてあげたい42名 (28.6%) であり、母親についてはかなり古典的生き方に映るようである。(7)「青年期に両親その他に反抗を感じましたか。」に対し、やや反抗した82名 (55.8%), 強い反抗41名 (27.9%) と、約83パーセントの者が、その過程を通っていることを示している。

Table IV 家庭関係

(1)現在の家庭に満足していますか。	
満足している	69(47.0)
やや満足している	51(34.7)
やや不満である	23(15.6)
不満である	3(2.0)
(2)親の考え方や生き方のくいちがいがありますか。	
ある	36(24.5)
いくらかあるが苦にしない	101(68.7)
ない	10(6.8)
(3)隣近所の家とうちとけた交流がありますか。	
ある	110(74.8)
ない	37(25.2)
(4)家庭の収入は充分と思いますか。	
充分	87(59.2)
不充分	60(40.8)
(5)お母さんをどのようにしてあげたいと思いますか。	
もっと趣味や楽しみをもってもらいたい	109(74.1)
家族みながもっと母を理解してほしい	42(28.6)
経済的にもっと独立させてあげたい	32(21.8)
夫や子どもに頼るだけでなく自分自身の生きる目的を持たせてあげたい	42(28.6)
家にばかりこもっていないで芸術、政治、社会問題などもっと外のことに関心をもってほしい	25(17.0)
母が年をとってからも、もっといっしょにいてあげたい	93(63.3)
(6)青年期に両親その他に反抗を感じたか。	
強い反抗を感じた	41(27.9)
やや反抗を感じた	82(55.8)
あまり反抗的でなかった	23(15.6)
全く反抗を感じなかった	1(0.7)

V学校関係では、(1)「今までの学校生活に満足していますか。」に対し、やや満足85名 (57.8%), やや不満41名 (27.9%) で、不満は、わずか7名 (4.8%) であった。(2)「進学するのは次の項目のいずれが主な理由か。」に対し、教養を身につける135名 (91.8%), 次いで、将来の職業生活や結

婚生活を有利にするため130名 (88.4%)、他の人達が進学するので66名 (44.9%) であった。この項目は現代女子学生の自主性の無さを示す特徴でもあろう。(3)「学校は就職、結婚に有利な手段か。」に対し、はい137名 (93.2%) である。(4)「今の学校は試験で優劣を決めて人間性を無視しているか。」に対し、はい106名 (72.1%) であった。(5)「学校では社会で役立つ技術や知識が得られないか。」に対し、いいえ107名 (72.8%) で、得られると回答している。(6)「学校では学生、生徒の意見が反映されていないのか。」に対し、86名 (58.5%) の者がはいと回答している。(7)「現代は能力よりも卒業した学校により就職、将来が決まる社会である。」に対し、はい84名 (57.1%) で、やや多いが、そうとも言い切れない反応もみられた。

(4)今の学校は試験の成績で優劣を決めて人間性を無視しているか。

はい 106(72.1)
いいえ 41(27.9)

(5)学校では社会で役立つ技術や知識が得られないか。

はい 37(25.2)
いいえ 107(72.8)

(6)学校では学生・生徒の意見が反映されていない。

はい 86(58.5)
いいえ 61(41.5)

(7)現代は能力よりも、卒業した学校により就職・将来がきまる社会である。

はい 84(57.1)
いいえ 63(42.0)

Table V 学校関係

(1)今までの学校生活に満足していか。

満足 14(9.5)
やや満足 85(57.8)
やや不満 41(27.9)
不満 7(4.8)

(2)進学するのは次の項目のいずれが主たる理由である。

将来の職業生活や結婚生活を有利にするため 130(88.4)
教養を身につけるためである 135(91.8)

他の人達が進学するので自分も進学したい 66(44.9)
親が上級学校へ進学した方が将来得であるとすすめる 36(24.5)

将来は親の職業や家柄などによって決まるから進学は
必要ない 0(0)

上級学校へ行くのは時間の浪費だ、若い時から働いた
方がよい 0(0)

上級学校へ行きたいが生活のため働かなくてはならない 1(0.7)

その他 8(5.4)

(3)学校は就職や結婚に有利になる手段となっているか。

はい 137(93.2)
いいえ 10(6.8)

Ⅵ国家社会生活関係(1)「我が国で生れ、生活することに満足か。」に対し、満足90名 (61.2%) で、不満は皆無であった。(2)「我が国にとって何が重要か。」に対し、平和な社会を築くこと116名 (78.9%)、次いで社会保障に力を入れ、ゆったりした生活にすること87名 (59.2%)、自然を大切にすること79名 (53.7%)、次いで伝統や文化を大切にすること57名 (38.8%) であった。(3)「道路など公共事業のために立ち退きさせられる人達の反対運動をどう思うか。」に対し、権利の主張として当然だ99名 (67.3%)、不当だ22名 (15.0%) であった。(4)「国全体の利益に重点がおかれすぎて国民一人一人がなおざりにされているか。」に対し、はい82名 (55.8%)、いいえ62名 (42.2%) で、ややそのようにみている。(5)「人間の信頼より規則や法律に縛られる社会である。」はい88名 (59.9%) であった。(6)「国民の望む反対の政治か。」に対し、はい128名 (87.6%) であった。(7)「金さえあればという物質万能の社会か。」に対し、はい113名 (76.9%) である。(8)「人間の将来は職業や家柄できる。」に対し、はい77名 (52.4%) である。(9)「大人は現状維持を大切にすすぎている。」に対し、はい99名 (67.3%) である。(10)「老

人が気の毒な社会だ。」に対し、はい78名 (53.1%) である。(11)「国は国民の権利や福祉を守っている。」に対し、やや充分でない84名 (57.1%) であった。(12)「社会に対し不満を持つが選挙権の行使で積極的態度はとらないか。」に対し、はい91名 (61.9%) であり、かなり批判的態度を取っている点で、この項目については青年期らしさがみられた。

Table VI 国家社会生活関係

(1)我が国に生れ、我が国で生活することに満足しているか。

満足	90 (61.2)
やや満足	48 (32.7)
やや不満	6 (4.1)
不満	1 (0.7)

(2)我が国にとって次のどれが重要か。

伝統や文化を大切にすること	57 (38.8)
産業を奨励し、経済生活を豊かにすること	37 (25.2)
社会保障に力を入れ、ゆったりした生活にすること	87 (59.2)
平和な社会を築くこと	116 (78.9)
自然を大切にすること	79 (53.7)
国際社会で尊敬されること	32 (21.8)
その他	2 (1.4)

(3)「道路など公共事業のため立ち退きさせられる人達はしばしば反対運動をおこします」その運動について。

権利の主張として当然だと思う	99 (67.3)
公共の福祉のため不当だと思う	22 (15.0)
その他	24 (16.3)

(4)「国全体の利益に重点がおかれすぎて国民ひとりひとりがなおざりにされている」と思うか。

はい	82 (55.8)
いいえ	62 (42.2)

(5)「国民ののぞむことと反対の政治が行われていることがある」

はい	128 (87.1)
いいえ	19 (12.9)

(6)「人間の信頼より規則や法律に縛られている社会である」

はい	88 (59.9)
いいえ	59 (40.1)

(7)金さえあれば何でもできる物質万能の社会になっている。

はい	113 (76.9)
いいえ	34 (23.1)

(8)「人間の将来は親の職業や家柄によって事実上きまっている」

はい	77 (52.4)
いいえ	69 (46.9)

(9)「大人は現状維持を大切にすぎている」

はい	99 (67.3)
いいえ	48 (32.7)

(10)「老人が気の毒な社会だ」

はい	78 (53.1)
いいえ	69 (46.9)

(11)「国は国民の権利や福祉を守っている」

充分	1 (0.7)
やや充分	60 (40.8)
あまり充分でない	84 (57.1)
全くだめ	2 (1.4)

(12)社会に対して不満を持ったと仮定しどんな態度がいいか。

選挙権を行使するくらいでそれ以上積極的な態度はとらない	91 (61.9)
-----------------------------	-----------

その理由

個人の力では及ばないところに問題があるから

	76 (51.7)
--	-----------

社会のことは誰か適当な人がやればよいから

2 (1.4)

自分にとって他にもっと大切なことがあるから

4 (2.7)

合法的範囲で積極的な行動に訴える	29 (19.7)
------------------	-----------

場合によっては暴力など非合法的な手段にも訴える

1 (0.7)

あまり関心がなく何もやらない

26 (17.7)

Ⅶ未来関係(1)「人類の英知で世界大戦はさけられるだろう。」に対し、はい91名 (61.2%) である。(2)「人類の英知で地球の汚染や資源の減失は防げるだろう。」に対し、いいえ100名 (68.0%) で、悲観的な見方をしている。(3)「30年後にはもっと住みよい社会になっているだろう。」に対し、いいえ109名 (74.1%) である。

Table Ⅶ 未来感関係

(1)「人類の英知で世界大戦はさけられるだろう」	
はい	90(61.2)
いいえ	57(38.8)
(2)「人類の英知で地球の汚染や資源の減失は防げるだろう」	
はい	47(32.0)
いいえ	100(68.0)
(3)「30年後にはもっと住みよい社会になっているだろう」	
はい	38(25.9)
いいえ	109(74.1)

Ⅷ異性関係(1)「結婚について、見合い結婚と恋愛結婚とどちらが望ましいか。」に対し、恋愛結婚95名 (64.6%) である。(2)「結婚の相手を選ぶときの条件。」に対し、愛情116名 (78.9%), 性格107名 (72.8%), 経済102名 (69.4%) であり健康は58名 (39.5%) である。(3)「性的変化 (初潮) についてどう感じたか。」に対し、いやな感じ87名 (59.2%), 嬉しかった81名 (55.1%), 不安な感じ66名 (44.9%) である。(4)「性的知識をどんな経路で得たか。」に対し、学校134名 (91.2%), 雑誌121名 (82.3%), テレビ、映画等71名 (48.3%) である。(5)「現在、特に愛情を感じている異性について。」に対し、いる75名 (51.0%), いない68名 (46.3%), その他3名 (2.0%) である。(7)「現在純潔ですか。」に対し、純潔である140名 (95.2%), ちがう7名 (4.8%) である。(8)「結婚した場合相手の家族との同居について。」に対し、別居したい80名 (54.4%), どちらでもよい51名 (34.7%),

同居してよい16名 (10.9%) であった。(9)「同性愛を感じた経験がありますか。」に対し、その他と答えた者111名 (75.5%) で、次いで軽い同性愛を持った20名 (13.6%), 強い同性愛を持つが異性への愛情は別である10名 (6.8%), 強い同性愛を持ち異性への愛情 (興味) はない3名 (2.0%) であった。(10)「結婚する場合相手の純潔についてどう考えますか。」に対し、殆ど問題にしない87名 (59.2%), 純潔であることを希望するがあまり拘泥しない53名 (36.1%), 絶対に純潔であることを求める7名 (4.8%) であった。即ち, Subjects の環境的要因により得られた結果でろう。

Table Ⅷ 異性関係

(1)結婚について、見合結婚と恋愛結婚とどちらが望ましいか。	
見合結婚	10(6.8)
恋愛結婚	95(64.6)
どちらでもよい	42(28.6)
(2)結婚の相手を選ぶとき次のどれを最も重要とするか。	
健康	58(39.5)
愛情	116(78.9)
知能 (学業成績等)	18(12.2)
性格	107(72.8)
容姿	10(16.8)
経済 (生活能力)	102(69.4)
職業	2(1.4)
家庭環境	6(4.1)
純潔	2(1.4)
その他	1(0.7)
(3)性的変化 (初潮) についてどんな感じを持ちましたか。	
うれしかった	18(12.2)
いやな感じ	81(55.1)
はずかしい感じ	87(59.2)
不安な感じ	66(44.9)
予期したものが生じた感じ	47(32.0)
大人になった感じ	46(31.3)
誰かに打ち明けたい感じ	9(6.1)
その他	3(2.0)

(4)性的知識を主としてどんな経路で得ましたか。

家族	27(18.4)
学校	134(91.2)
図書	15(10.2)
雑誌	121(82.3)
テレビ・映画等	71(48.3)
その他	3(2.0)

(5)現在特に愛情を感じている異性がいますか。

いる	75(51.0)
いない	68(46.3)
その他	3(2.0)

(6)結婚前の性的関係を認めますか。

避けるべきである	33(22.4)
愛情があればいい	72(49.0)
愛情がなくてもいい	1(0.7)
分らない	41(27.9)

(7)現在純潔ですか。

純潔である	140(95.2)
純潔でない	7(4.8)

(8)結婚した場合相手の家族との同居について。

同居してよい	16(10.9)
別居したい	80(54.4)
どちらでもよい	51(34.7)

(9)同性愛を感じた経験がありますか。

強い同性愛を持ち異性への興味がない	3(2.0)
強い同性愛を持つが異性への愛情は別個である	10(6.8)
軽い同性愛を持った	20(13.6)
その他	111(75.5)

(10)結婚する場合、相手の純潔についてどんなに考えますか。

絶対に純潔であることを求める	7(4.8)
純潔であることを希望するがあまり拘泥しない	53(36.1)
純潔については殆んど問題にしない	87(59.2)

結論：本調査の結果から、①人生観、自己、家庭、学校、国家社会生活、未来、異性、の各関係については、かなり現代的（文化の）色彩のある傾向もみられ、又、友人・生活関係にも勿論その傾もあるが、いわゆる青年期独自の匂いも強いことから、これらの関連について、今後、調査・分析を続けてゆきたい。又、手もとにある10年前の未発表の資料との比較考察を綿密にしてゆきたい。

文献：

- 1) 野村晶子、1985、女子学生の生活態度・意識に関する調査結果;家政研究（第16号）。
- 2) 野村晶子、1986、女子学生の生活態度・意識について;日本教育心理学会第28回総会発表論文集。
- 3) 吉森 護、現代青年の社会的態度と自己意識;日本教育心理学会第28回総会発表論文集。
- 4) 駒崎 勉、大学生の性的行動に関する一考察;日本教育心理学会第28回総会発表論文集。
- 5) 昭和60年・61年総理府青少年対策本部編、1984、青少年白書;総理府青少年対策本部。